

がんサバイバーに対する漢方処方の情報蓄積にむけた熊本大学病院での漢方薬の使用実態調査

Survey on the Actual Use of Kampo Medicines at Kumamoto University Hospital toward the Accumulation of Information on Kampo Prescriptions for Cancer Survivors

○成瀬 遥佳¹、三宅 俊介²、鬼木 健太郎¹、猿渡 淳二¹、城野 博史²

○Haruka Narise¹, Shunsuke Miyake², Kentaro Oniki¹, Junji Saruwatari¹, Hirofumi Jono²

1. 熊本大院薬、2. 熊本大病院薬

1. Grad.Sch.Pharm.Sci.,Kumamoto Univ., 2. Dept.Pharm.Kumamoto.Univ.Hospital

【目的】近年、がん患者の生命予後が改善し、高齢者や女性の就労増加もあり、がん患者の就労は増加しているが、がん化学療法の副作用がその阻害要因となっている。漢方薬はがん化学療法の副作用に対する有用性が示唆されているが、未だ情報は不十分である。本研究では、がんサバイバーへの漢方処方の有用性に関する情報の蓄積を目指して、熊本大学病院におけるがん患者への漢方薬の使用実態を調査した。

【方法】2020年1月から2021年5月の熊本大学病院での漢方処方件数を確認し、がん化学療法に併用される漢方処方を抽出した。対象診療科のカルテを閲覧し、漢方薬が処方された患者の生年月日、化学療法の期間およびサイクル数、化学療法の開始・終了理由、漢方薬の処方日および処方日数、既往歴、併用薬、副作用情報を調査した。患者背景毎に対象集団を群分けし、副作用が改善した人の割合を群間で比較した。

【結果】熊本大学病院では、婦人科で漢方処方が多く、パクリタキセル/カルボプラチン療法(TC療法)に併用される牛車腎気丸の処方件数が多かった。そこで、TC療法を開始した患者のうち、牛車腎気丸が処方された28名を抽出したところ、当該漢方処方後にしびれが改善したのは14名(50%)だった。しびれの改善群では、非改善群と比べて、漢方薬の処方日数が長く ($p=0.074$)、TC療法開始から漢方処方開始までの日数が短い傾向を認めた($p=0.058$)。

【考察】本研究では、婦人科でTC療法下の患者では、牛車腎気丸の早期並びに継続使用でしびれに対する効果が期待できる可能性を示した。本発表では、疲労・倦怠感等の他の副作用の結果も含めて、当該施設での牛車腎気丸の使用実態の詳細を報告する予定である。

Survey on the Actual Use of Kampo Medicines at Kumamoto University Hospital toward the Accumulation of Information on Kampo Prescriptions for Cancer Survivors

○Haruka Narise¹, Shunsuke Miyake², Kentaro Oniki¹, Junji Saruwatari¹, Hirofumi Jono²

1. Grad.Sch.Pharm.Sci.,Kumamoto Univ., 2. Dept.Pharm.Kumamoto.Univ.Hospital

【目的】近年、がん患者の生命予後が改善し、高齢者や女性の就労増加もあり、がん患者の就労は増加しているが、がん化学療法の副作用がその阻害要因となっている。漢方薬はがん化学療法の副作用に対する有用性が示唆されているが、未だ情報は不十分である。本研究では、がんサバイバーへの漢方処方への有用性に関する情報の蓄積を目指して、熊本大学病院におけるがん患者への漢方薬の使用実態を調査した。

【方法】2020年1月から2021年5月の熊本大学病院での漢方処方件数を確認し、がん化学療法に併用される漢方処方を抽出した。対象診療科のカルテを閲覧し、漢方薬が処方された患者の生年月日、化学療法の期間およびサイクル数、化学療法の開始・終了理由、漢方薬の処方日および処方日数、既往歴、併用薬、副作用情報を調査した。患者背景毎に対象集団を群分けし、副作用が改善した人の割合を群間で比較した。

【結果】熊本大学病院では、婦人科で漢方処方が多く、パクリタキセル/カルボプラチン療法(TC療法)に併用される牛車腎気丸の処方件数が多かった。そこで、TC療法を開始した患者のうち、牛車腎気丸が処方された28名を抽出したところ、当該漢方処方後にしびれが改善したのは14名(50%)だった。しびれの改善群では、非改善群と比べて、漢方薬の処方日数が長く ($p=0.074$)、TC療法開始から漢方処方開始までの日数が短い傾向を認めた($p=0.058$)。

【考察】本研究では、婦人科でTC療法下の患者では、牛車腎気丸の早期並びに継続使用でしびれに対する効果が期待できる可能性を示した。本発表では、疲労・倦怠感等の他の副作用の結果も含めて、当該施設での牛車腎気丸の使用実態の詳細を報告する予定である。